

1 再読文字その1

<書き下し文・意味>

- (1) **このむものをきかざる** 未だ学を好む者を聞かざるなり (まだ学問を好む者を知らないのだ)
- (2) **よろしく** 宜しく高位に在るべし (高い位にいるのがいい)
- (3) **いまだかへらず** 人未だ還らず (人がまだ帰らない)
- (4) **ぎするにたらざる** 未だ与に議するに足らざるなり (まだ共に道を論ずる資格がない)
- (5) **げんにしたがふべし** 宜しく師の言に従ふべし (先生の言葉に従うのがよしい)

2 再読文字その2

- (6) **をしむべし** 当に寸陰を惜しむべし (わずかな時間も惜しまなければならない)
- (7) **まさに** 応に故郷の事を知るべし (きつと故郷の事を知っているだろう)
- (8) **ときにおよんでまさに** 時に及んで当に勉励すべし (時をのがさず、当然勉め励むべきである)
- (9) **ながるべし** 漢水も亦応に西北に流るべし (漢水もまたきつと西北に流れるだろう)
- (10) **およぶべし** 楽しみを為すは当に時に及ぶべし (楽しいことをするのは楽しむべき時にするべきだ)

<読み方のポイント>

「未」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。未は「いまだ～せず」と読み、「まだ～しない」と訳す。

「宜」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。宜は「よろしく～べし」と読み、「～するのがよい」と訳す。

「未」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。未は「いまだ～せず」と読み、「まだ～しない」と訳す。

「未」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。未は「いまだ～せず」と読み、「まだ～しない」と訳す。

「宜」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。宜は「よろしく～べし」と読み、「～するのがよい」と訳す。

「当」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。当は「まさに～すべし」と読み、「当然～すべきだ」と訳す。

「応」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。応は「まさに～すべし」と読み、「きつと～のはずだ」と訳す。

「当」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。当は「まさに～すべし」と読み、「当然～すべきだ」と訳す。

「応」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。応は「まさに～すべし」と読み、「きつと～のはずだ」と訳す。

「当」は再読文字。再読文字は、始めに返り点を無視して読み、その後もう一度返り点通りに読む。当は「まさに～すべし」と読み、「当然～すべきだ」と訳す。



【アプリ版のご紹介】中高生の漢文

再読文字や二重否定、疑問・反語など、漢文の返り点と句法を収録。
項羽や劉邦を始めとする歴史上の人物や、故事などに関する豆知識も満載！
アプリ版は、軽快なテンポで多数の問題に挑戦できるので、反復学習に最適です。



【他アプリからオマケの一題】

中高生の古文

助動詞「けり」に接続する用言の活用形はどれ？
(A) 未然形 (B) 連用形 (C) 終止形 (D) 連体形